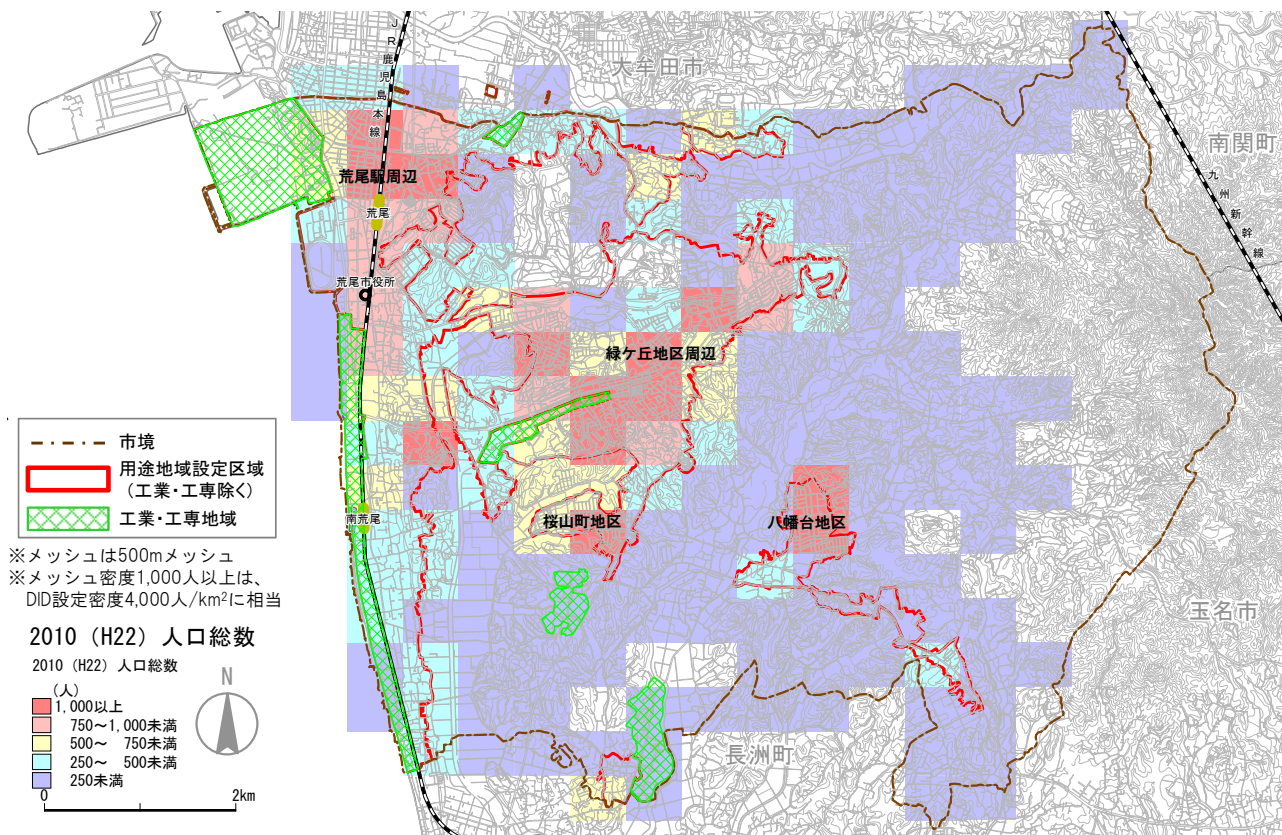


2) 人口分布

① 人口総数

■2010 (H22) 年 人口分布

- 平成 22 年の総人口 55,321 人は、旧市街化区域人口が 43,364 人 (78.4%)、旧市街化区域外人口が 11,957 人 (21.6%) となっており、比較的コンパクトな居住を実現しています。
- 「荒尾駅周辺」、「緑ヶ丘地区周辺」、「八幡台地区」、「桜山町地区」を中心に、人口集積が見られます。

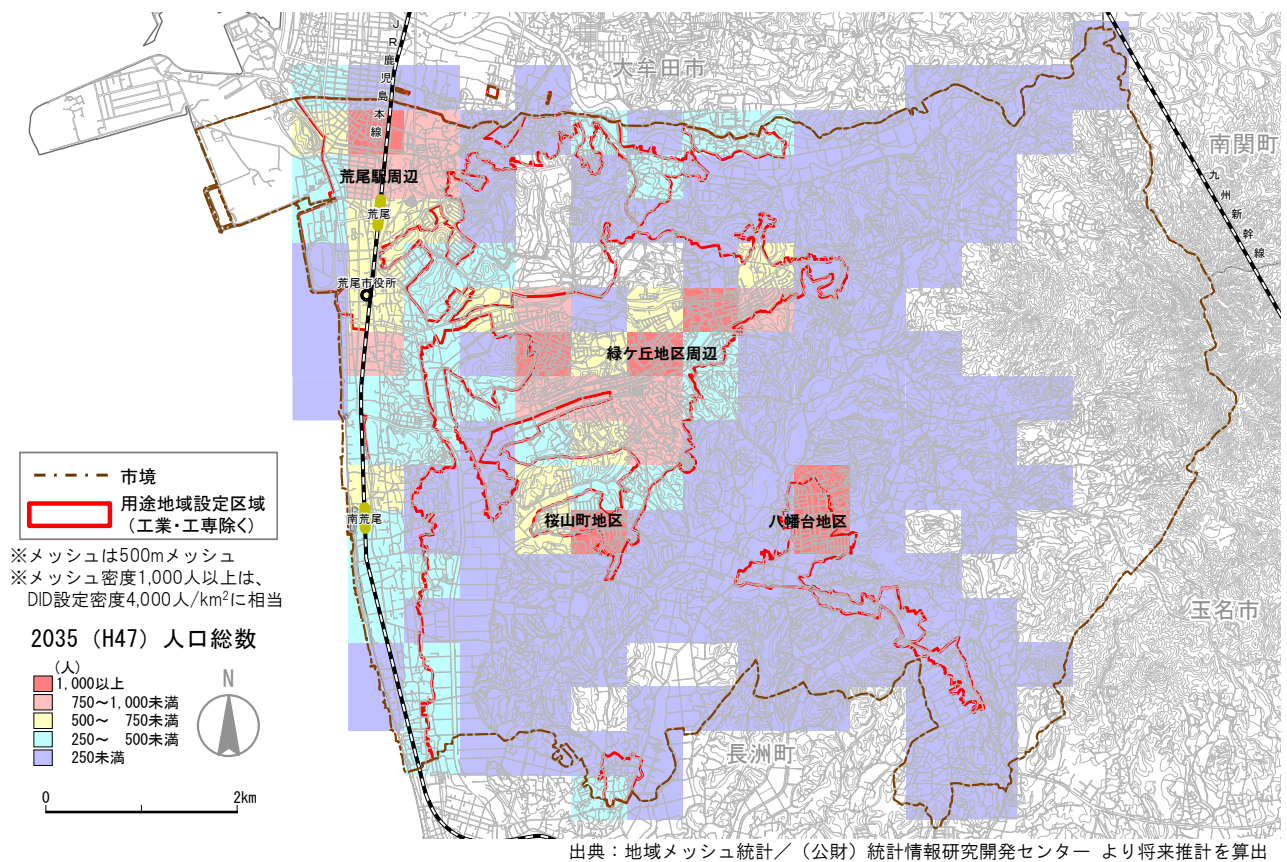


出典：地域メッシュ統計 / (公財) 統計情報研究開発センター、国土数値情報ダウンロードサービス-用途地域 / 国土政策局 GIS HP

注) 平成 16 年 7 月に区域区分 (線引き) が廃止されているため、ここでは工業地域及び工業専用地域を除いた用途地域設定区域を「旧市街化区域」とみなして検討を行います。

■2035 (H47) 年 人口分布

- 20年後となる平成47年の推計人口46,011人のうち、旧市街化区域人口は約37,000人と推計され、平成22年から平成47年にかけて旧市街化区域内の人口は、約6,000人強の減少が見込まれます。
- 平成47年時点においても、「荒尾駅周辺」、「緑ヶ丘地区周辺」、「八幡台地区」、「桜山町地区」を中心に人口集積が見られるものの、人口の減少により、一定の人口密度[※]を有するエリアは、平成22年時点より縮小することが見込まれます。

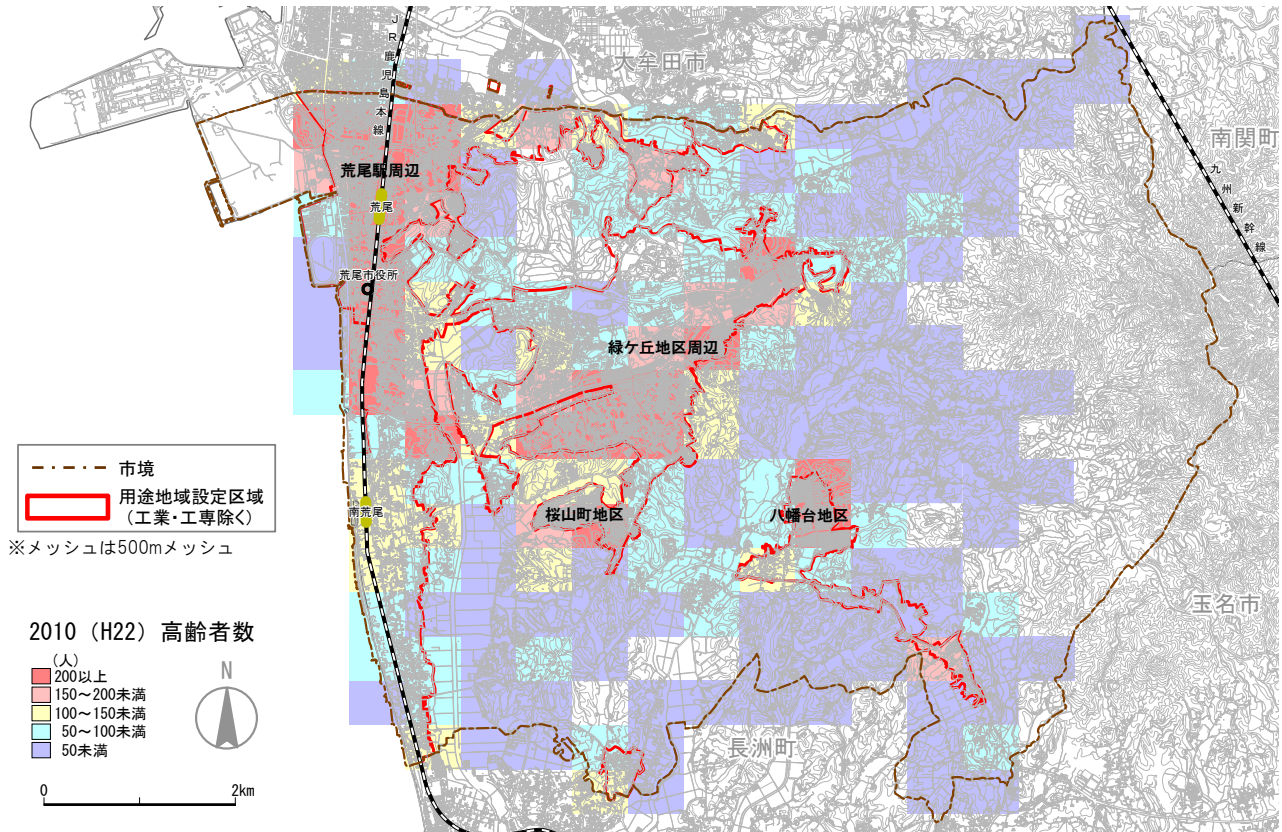


※一定の人口密度：都市的地域を表す指標である人口集中地区（DID地区）の設定基準では、原則として人口密度が4,000人/km²以上とされています。

② 高齢者人口

■2010（H22）年 高齢者人口分布

○平成22年時点では、「荒尾駅周辺」、「緑ヶ丘地区周辺」、「八幡台地区」、「桜山町地区」を中心とする人口集積エリアで、高齢者の人口分布が高くなっています。



出典：地域メッシュ統計 / (公財) 統計情報研究開発センター

■2035 (H47) 年 高齢者人口分布

○高齢者人口は、平成 22 年から平成 37 年にかけて増加後に減少に転じますが、20 年後となる平成 47 年の高齢者人口分布状況は、現状とほぼ同じであり、人口集積の高いエリアに多くの分布が見込まれます。

